知立選抜 最後まで諦めず

知立選抜チームのメンバー

キャッチ旗争奪 学童軟式野球大会

「第33回六市対抗キャッチ旗争奪学童軟式野球大会」が5月11日に刈谷球場で開かれ、知立選抜チームは初戦で敗れたものの、最後まで諦めず戦い抜きました。

市内6年生17人が出場

知立選抜は、市内4チーム（来迎寺アイリーズ、知立エンゼルス、知立ベアーズ、知立サウス）から選ばれた小学6年生17人で構成。選手らは通っている学校も所属チームも違いますが、市の代表として一丸となって優勝を目指しました。

応援に駆け付けた所属チームの後輩や保護者らから大きな声援が送られました。

「試合は楽しかった。負けたのは悔しいけど、（選抜チームの）コーチに教えてもらったことを普段の練習に生かしていきたい」と猿渡小学校の保田悠臣君。

同大会は各市の6チームがトーナメント戦を展開し、西尾選抜が優勝しました。

知立選抜の選手は次の皆さん。

保田悠臣、小林敬二朗、大河内蒼生、清水桜雪、氷海悠将、近藤佑樹、加藤丈琉、倉田隼志、金原志真、川﨑優惺、竹本陽樹、鈴掛和希、伊藤蓮斗、西尾憲麒、石川陽翔、皆川雅弥、中野佑飛

知立駅前再開発計画などを説明 商工会通常総代会

新美会長

知立市商工会の「第64回通常総代会」が5月23日に同商工会館で行われ、本年度の事業計画などが説明されました。

総代会には会員約40人が出席。29日に任期満了になる役員の選任もあり、新美文二会長が再任されました。

新美会長は「人口の減少や事業所の減少など商工会を取り巻く環境は厳しいが、会員の繁栄に尽力したい」とあいさつしました。

その他、〝100年に1度〟といわれる知立駅前周辺再開発事業について説明。同商工会らが主導する「知立駅前周辺未来構想～CHIRYU・TRAIN・PARK」（案）では、市外の総合病院と知立駅を結ぶ直行バス案やスタートアップステーションスモールビジネスなどに触れ、実現に向けた積極的な参加や意見交換を会員らに求めました。

同商工会は本年度、「小規模事業者の生産性の向上に向けた伴走型支援の強化」「人材育成支援の推進」「事業継承・創業の推進による地域の持続的発展」「商店街活性化事業の推進」「商工会組織・財務基盤の強化」の5項目を重点に諸事業に取り組む計画です。

目指せ！ 藤井八冠 正文館書店で「将棋教室」 16日午後2時から

文本さん

正文館書店知立八ツ田店で16日午後2時から、「ふみもと将棋教室」が開催されます。参加者を募集しています。

同書店の6月イベント。

藤井聡太八冠が5歳から10歳まで通った「ふみもと子供将棋教室」を主宰する文本力雄さんと、日本将棋連盟徳重支部長の榊原智さんを招き、詰め将棋クイズや将棋の実践などが楽しめます。

対象は小学生ぐらいから、大人の将棋が好きな人。定員28人。参加無料。

申し込みは、電話または店舗インフォメーションカウンターで受け付けています。問同店☎85・2341

タウン情報

【展示】

◆常滑手造り急須と漆木工展　17日まで、前10～後6（17日は後4）、新富の画廊じんから問同画廊☎81・0256

◆第28回レザンの会　25～30日前10～後5、中区の名古屋市民ギャラリー7階。知立、安城、刈谷の三河地区と尾張地区の絵画愛好者の年1回の合同展。問同ギャラリー☎052・265・0461

【催し】

◆紙芝居の会　15日後2・30、市図書館おはなしコーナー。問同館☎83・1131

◆Thai Dance workshop　16日正午～後2、弘法町の遍照院。タイ北部ランナー地方に伝わる素手舞や剣舞を披露。問久世さん☎090・9898・9456

◆第46回知立市民文化のつどい「人形劇の公演会」　16日後1・30、市中央公民館2階講堂。愛教大人形劇サークルが公演。問同館☎83・1165

◆おもちゃ図書館　作ってあそぼう！おもちゃフェスティバル　22、23日前10～後3、市図書館。問同館☎83・1131

◆第32回7万人クリーンサンデー　23日前8・30～9・30。自宅からごみを拾いながら市内20カ所にあるごみステーションを目指します。雨天決行。

【コンサート】

◆リリオ・ミニコンサート　深緑の爽やかなハーモニー　21日前11・30、リリオ・コンサートホール。Trio Feliciaがヴェルディの歌劇『椿姫』より乾杯の歌などを演奏。全席自由。500円。未就学児の入場は不可。問同ホール☎85・1133

【音楽】

◆おやこDEおんがくあそび　19日前10・30～11・30、パティオ池鯉鮒。対象は2歳以上の未就園児と保護者。先着15組。参加無料。電話または窓口で申し込み。問同館☎83・8102

中日新聞販売店情報

★7月16日は朝刊休刊日です。

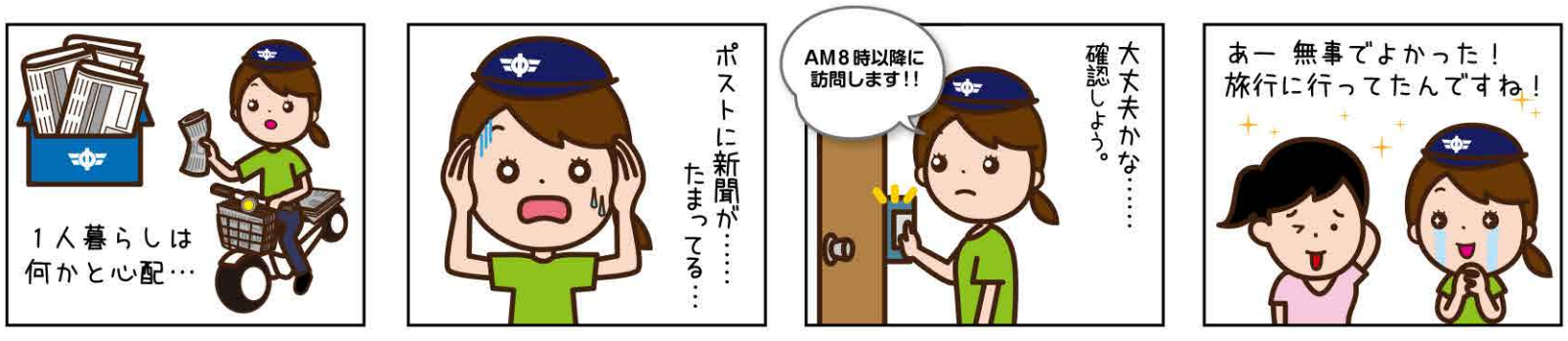
中日新聞販売店

新聞屋さんの見守り活動　無料

ポストに残った新聞で異常を察知するサービスです

ご購読いただいている「中日新聞」が取り込まれていないことを目安として異常事態を察知し、あらかじめ登録していただいている連絡先に連絡をとることで安否確認を行う、ご購読者限定の無料サービスです

①スタッフが異常を感知する→②中日新聞販売店から訪問や電話などで本人に連絡をとる



中日 毎日みまもっています

お問い合わせはお近くの中日新聞販売店まで

※中日新聞を購読される場合、「み・まも～る」という親族の方に異常の一報を入れる無料のサービスが受けられます
※中日新聞販売店が読者に対して行う無料のサービスで救命を義務とするものではありません
■ご旅行などで留守にする場合は、事前に本人から販売店へ連絡をお願いします